

立川市総合都市交通戦略 中期計画期間の展望

1. 対象期間

令和2年度～6年度（5年）

2. 施策の基本的考え方

- ・第4次長期総合計画後期基本計画（案）との整合
- ・短期計画期間（H27～31）の検証を踏まえた方向性の整理
- ・重点整備地区の設定は継続するものの、これまでの拠点形成からネットワーク化などへ軸足をシフトしていく。
- ・集中と選択により、次期5年間で取り組む施策パッケージ
→各重点整備地区の重点施策（施策の方向性）を抽出する。

重点整備地区① 中心市街地周辺地区

- ・立川駅北口デッキエスカレーター設置
- ・立鉄中付第2号線の整備に伴う道路橋の整備
- ・58街区合築事業に伴う立川駅南口周辺の自転車等駐車場の再編 など

重点整備地区② 新市街地周辺地区

- ・立飛駅周辺自転車等駐車場の整備に向けた検討 など

重点整備地区③ 旧庁舎周辺地区

- ・JR南武線鉄道立体化、西国立駅駅前交通広場の整備に向けた取組み など

重点整備地区④ 武蔵砂川駅北側地区

- ・街区幹線道路及び市道2級25号線の整備
- ・武蔵砂川駅北側における自転車等駐車場の整備 など

市内全域で取り組む施策

- ・都市計画道路（立3・4・15号線、立3・4・21号線、立3・2・10号線、立3・3・30号線、立3・2・38号線等）の整備に向けた取組み
- ・西武線沿線（玉川上水駅）自転車駐車場の整備・有料化等
- ・多摩都市モノレール線沿線自転車駐車場の整備・有料化等の検討
- ・自転車活用推進計画に基づく自転車走行環境の整備 など

3. 評価指標の考え方

- ・ 市民意向調査の指標は、平成 25 年度を最後に調査が終了したため対象から外す。
- ・ 市民満足度の指標は、社会情勢や世論の影響を受けやすく、施策との関連性が不明瞭なこと、目標値の設定が困難なことから、メイン指標・サブ指標として採用しない。
ただし、目標値を設定しない「参考指標」として位置付け、毎年進捗を確認する。
- ・ メイン指標は、後期基本計画や各個別計画等に位置づけている指標を参考に設定する。

4. スケジュール

- ・ 関連する庁内部署・事業者へのヒアリングや、評価指標の抽出等を踏まえ、事務局で施策の整理を行う。
- ・ 令和 2 年度に開催する協議会で案を提出する。